

埼玉県議会議員 無所属 41歳



すがわら文仁

【略歴】昭和50年7月30日生まれ(41歳) 市立美谷本小学校・美笹中学校卒 県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会代表「地盤・看板・カバン」なして政治に挑戦 平成17年~23年戸田市議 平成23年埼玉県議会議員に初当選 平成27年再選 会派「無所属県民会議」総務会長 福祉保健医療委員 公社事業対策特別委員 青年地方議員の会会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会副会長 日本自治体危機管理学会会員 【趣味】読書・史跡巡り・B級グルメ探し 【特技】バク転・のび太並みの早寝 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」 【家族】父・母・妻・娘・息子・愛犬 【夢】努力した者が報われる社会を実現すること 【自宅】戸田市美女木8-21-6

発行 無所属県民会議戸田支部(菅原文仁)
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX 048-432-3585
HP sugawarafumihito.com
Email mail@sugawarafumihito.com

ご挨拶

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、史上最大の番狂わせとなった米大統領選挙に勝利したトランプ次期大統領は、同盟国に相応の負担を求め、TPP離脱を表明するなど「アメリカ第一主義」を標榜しています。米国は孤立主義、保護主義に傾倒することが見込まれ、極端な悲観論や過度な楽観論も飛び交っております。我が国としては、緊迫する東アジア情勢を踏まえ、「自分の国の安全を自分たちで守る」ことの重要性がさらに高まることは必至です。また資源に乏しく食料自給率も低い経済環境からも「自由貿易体制の維持」に向けた最大限の努力が求められます。

一方、内政に目を向ければ、未だ成果を出せない金融・財政政策や、超高齢化に対応した医療・介護体制の構築、さらには待機児童問題をはじめとする総合的な少子化対策など、待ったなしの問題は山積みであり、まさに内憂外患こもごも至るといった状況です。

こういった難しい時代にあって、私は「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」と遺したビスマルクの言葉を噛み締めます。自分の価値観のみを信じた「裸の王様」にはならず、歴史の教訓に学び、先達を顧みることを忘れず、冷静な頭と温かい心で価値ある未来を創るため最善を尽くしますので、引き続きのご声援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

埼玉の未来、そして愛する戸田の発展のため、今年も全力疾走で頑張ります！

菅原文仁

すがわら文仁最新ニュース

▼来年度予算要望を上田知事に提出！

10月14日、来年度予算編成に向けて地元の問題30項目を含めた474項目について、上田知事に直接要望を行いました。



「彩湖に誘致する会」の皆様と署名を提出！

10月24日、戸田市民を中心に活動する「彩湖に東京オリンピックボート競技を誘致する会」の皆様が集めた11,418筆の署名を塩川副知事に提出。その模様はNHKニュースに取り上げられました。



9月定例会報告(9月23日~10月14日)

知事提出議案の主な内容

知事提出の議案は26件あり、23件が原案通り可決、3議案(平成27年度決算認定2件、埼玉県5か年計画の策定)は、それぞれ特別委員会が設置され、継続審査となりました。無所属県民会議はすべての議案に賛成しました。



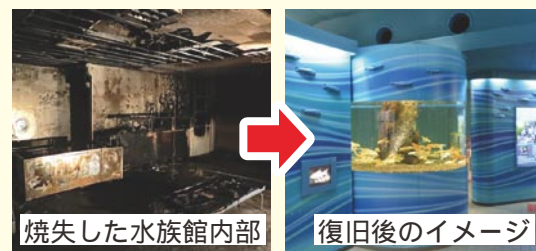
会派を代表して賛成討論！

賛成 埼玉県一般会計補正予算 可決

補正額(第2号)13億8,304万円 補正額(第3号)108億9,425万円
平成28年度の一般会計予算の累計額 1兆8,933億2,924万4千円

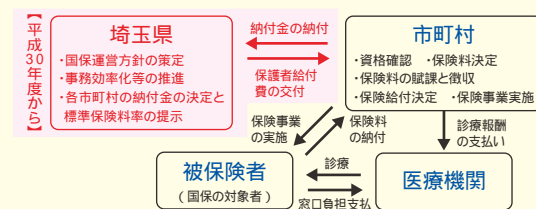
さいたま水族館の復旧 2億7,500万円

平成28年6月12日未明発生の火災により罹災した羽生水郷公園内「さいたま水族館」について、復旧するための工事を行い、水族館の早期全面営業再開をはかるための予算です。



賛成 国民健康保険事業運営協議会の設置 可決

国民健康保険法の一部改正に伴い、国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する協議会を設置するための改正です。



賛成 地域保健医療計画の変更 可決

医療法の改正によって各都道府県に策定が義務付けられている「埼玉県地域医療構想」を定めるもの。この構想は、各二次医療圏の病床の将来推計などを示し、地域の実情を踏まえた医療提供体制の方向性を定めております。戸田市の属する「南部医療圏」は、回復期病床の不足や、在宅医療等の必要量が大幅に増加することが見込まれており、病床の確保や看取りができる医療機関の確保が今後の課題となりそうです。

【南部区域の医療需要推計】

在宅医療等の必要量		(人/日)	
	平成25年		平成37年
全体	6,225		10,740
うち訪問診療分	4,408		7,518

病床の必要量		(床)					
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	無回答
平成37年必要病床数推計(a)	609	1,922	1,623	871	5,025		
平成27年度病床機能報告(b)	996	2,099	302	723	4,120	226	
差引(b-a)	387	177	1,321	148	905		

議員提出議案の主な内容

議員提出の議案は14件あり、全ての議案が可決されました。

注目した議案(決議・意見書)

- 賛成 埼玉農業の「体力強化」を求める決議 可決
- 賛成 中小企業のIT化及び海外展開への支援を求める意見書 可決
- 賛成 骨髄移植ドナーに対する支援の充実を求める意見書 可決
- 賛成 食品ロス削減に向けての取組を進める意見書 可決

統計からみる埼玉県と戸田市

	総人口(人)	人口増減率(前)	平均年齢(歳)	市町村民所徴(万円)	生活保護率(%)	納税率(%)	市町村道舗装率(%)	下水道普及率(%)	犯罪率(全県)	人身事故発生率(全県)
埼玉県	H28.9 7,281,456	3.3	44.8	280.6	1.3	94.3	69.6	79.2	10.6	4.2
戸田市(議)	H28.9 136,806	1位 36.0	1位 39.9	1位 360.6	7位 1.7	17位 95.3	1位 99.0	14位 88.0	2位 15.3	16位 4.6

総人口以外は「統計からみた埼玉縣市町村のすがた2016」より引用

一般質問の報告

中核市移行後も保健所は現地で!

川口市の中核市移行に伴い、川口保健所には、戸田市と蕨市の保健所事務(災害医療、感染症、食品衛生、生活衛生、薬事衛生等々)が残されます。



【保健所管轄図】



そのような中、今年3月に発表された県の「庁舎・公の施設マネジメント方針」において、(財政的観点から)今後、保健所の移転により利用面積縮小が想定されるため、将来的な集約化等を検討する、という文言が付記されました。

関係者からも「戸田市、蕨市分の業務が、他の(例えば朝霞など)保健所に集約化されてしまうのでは?」との懸念が浮かび上がりました。そこで、質問を通じて川口保健所の歴史的経緯や保健所事務の特殊性に鑑みて危機管理上のリスクを踏まえ、戸田市、蕨市の保健所事務は現地で継続することが適切であり集約化してはならないと主張して、上田知事に直接回答を求めました。

すがわら文仁



川口保健所は、機能を集約化しようにも地理的な連続性が保てず、飛び地で集約化するなど危機管理上もあり得ない。保健所は地域医療の要であり、健康危機管理の拠点。県民に大きな安心をもたらす。蕨市、戸田市分の業務を他の保健所に移管し統廃合することは、知事が県政の基本として掲げている「安心・安全の理念」にも反する。

川口市分の事務が完全に移管された後の川口保健所については、これまでどおり蕨市、戸田市分の業務を継続して行うべきものだ。知事の見解はどうか。

上田清司 知事



御指摘のように、県の保健所は地域の保健・医療を支える拠点であり、広域的、専門的な機能を持った健康危機管理の最前線としての役割を持っている。保健所の所管区域は二次医療圏と概ね一致した区域とされており、本県も二次保健医療圏を基本としている。川口保健所が所管する南部保健医療圏は川口市、戸田市、蕨市であるが、平成30年度に川口市単独の保健所が設置された後も、戸田市と蕨市を所管する県の保健所が必要となる。現在の川口保健所はどちらかと言えば川口市の中央ではなく、むしろ戸田市、蕨市に限りなく近いロケーションにある。そういう意味でも方向性としては、現在の川口保健所を活用し、戸田市民、蕨市民の健康をしっかりと守っていくことが望ましいと考えている。

保健所は、地域の健康を守る大きな砦です。今回の答弁で知事から、「方向性として現在の川口保健所を活用する」との言質を得た意義は大きいと思います。今後も地元の保健行政をスムーズに進めるため、この件については注視していきたいと思っています



埼玉県でもタンデム自転車解禁を!

タンデム自転車は、これまで視覚障害者の方々や自転車愛好家の方々を中心に親しまれてきました。前方に誘導者がいること



タンデム自転車試乗会

で後ろの方は安心してペダルをこくことができるため、障害があっても健常者と同じように自転車特有の風を切る感覚や爽快感、疾走感を感じることができます。しかし現在、埼玉県内の公道におけるタンデム自転車の走行は公安委員会規則の道路交通法施行細則により制限され、事実上走行できません。そこで、県警本部長にタンデム自転車の公道走行を解禁するよう提案しました。

すがわら文仁



先月、タンデム自転車を体験走行した。一般の自転車と安全性で劣らないというのが私の率直な感想だ。タンデム自転車の公道走行を可能とする規則の改正は、視覚障害者の皆さんや自転車愛好家の皆さんが切に待ち望んでいる。今年4月に施行された障害者差別解消法の趣旨に沿うものでもある。今後、埼玉県内においても公道におけるタンデム自転車の走行が可能となるよう検討していただきたいが、警察本部長に見解を伺う。

貴志浩平 警察本部



自転車の乗車定員は道路交通法の規定により、都道府県公安委員会が定めることができるとされている。埼玉県での二輪又は三輪の自転車の乗車定員は、幼児を同乗させる場合等を除いて原則1人とされており、議員ご質問のいわゆるタンデム自転車については、二人乗りで公道を走行する事はできない現状だ。本県においても視覚障害者団体等から「タンデム自転車で二人乗りの公道走行をできるようにしてもらいたい。」との要望が寄せられていることは承知している。他方、県内では、昨年自転車乗用中に亡くなった方は42人と全国で3番目に多く、また、本年も5月末現在で18人と全国で1番多い状況になっており、自転車による交通事故は深刻である。このため、タンデム自転車の公道走行については、車体の形状が安全性に及ぼす影響、走行が認められている府県の走行実態や事故の発生状況などを見極めつつ、総合的に検討、研究したいと考えている。

タンデム自転車の公道走行は、現在全国12府県で可能となっており、昨年のさいたまクリテリウムへのタンデム自転車の出場や、埼玉サイクリングフェスの体験イベント開催など、その機運は高まっています。聴覚障害者協会の宮城会長が「狭く限られた場所ではなく、どこでもタンデム自転車に乗れる環境を作っていただきたい、それが私たちの夢です」と切実に訴えていらっしやっただのを鮮明に覚えています。警察本部長が「総合的に検討、研究」と、初めて前向きな答弁をしたのは画期的です。これからも引き続き解禁に向けて頑張ります。



一行日記

- 9月(長月)
- 1日(市内) 事務所用務
 - 2日(市内) 事務所用務
 - 4日(市内) 青年地方議員の会総会
 - 5日(市内) インターシップ勉強会
 - 6日(県議会) 会派打合せ
 - 7日(北九州市) 動物公園協会視察
 - 8日(糸島市) 水素エネルギー製品研究試験センター視察
 - 9日(福岡市) 有機光エレクトロニクス実用化開発センター視察
 - 10日(市内) 戸田市敬老会
 - 11日(市内) 町会敬老お食事会
 - 12日(県議会) 市民相談対応
 - 13日(市内) 福祉保健医療部勉強会
 - 15日(市内) 美女木八幡神社例大祭
 - 16日(県議会) 会派団会議
 - 17日(市内) 全国市町村交流レガッタ開会式
 - 18日(市内) 美女木八幡神社お祭り
 - 19日(市内) 明治大学校友会
 - 20日(県庁) 知事特別秘書打合せ
 - 21日(県庁) 知事打合せ
 - 23日(県議会) 本会議9月定例会開会
 - 24日(市内) 美谷本小学校運動会
 - 25日(市内) 防災訓練
 - 26日(市内) 議案説明会
 - 27日(県議会) 教育委員会勉強会
 - 28日(千代田区) 参議院会館打合せ
 - 29日(県議会) 本会議一般質問
 - 30日(県議会) 本会議一般質問



10月(神無月)

- 1日(市内) 市制施行50周年記念式典
- 3日(県議会) 本会議一般質問
- 4日(県議会) 本会議一般質問
- 5日(県議会) 本会議一般質問
- 6日(市内) 商工会青年部
- 7日(県議会) 福祉保健医療常任委員会
- 9日(市内) 上戸田氷川神社祭礼
- 12日(県議会) 福祉保健医療常任委員会
- 13日(県議会) 公社事業対策特別委員会
- 14日(県議会) 本会議9月定例会閉会
- 15日(市内) 防災シンポジウム
- 16日(市内) 市民体育祭
- 17日(市内) 彩湖誘致署名活動
- 18日(県議会) 農林部勉強会
- 19日(市内) マンション耐震改修工事現地視察
- 20日(千代田区) 医療政策勉強会
- 21日(さいたま市) 埼玉県戦没者追悼式
- 22日(市内) 戸田市商工祭
- 23日(さいたま市) 埼玉県視覚障害者福祉大会
- 24日(県庁) 彩湖誘致署名提出
- 25日(市内) 事務所用務
- 26日(市内) ボート競技アスリート公開討論会
- 27日(さいたま市) さいたま市下水道課ヒアリング
- 28日(市内) 事務所用務
- 29日(市内) 美笹中学校創立70周年記念式典
- 31日(市内) 訪問市民相談



11月(霜月)

- 1日(市内) 訪問市民相談
- 3日(市内) 戸田市戦没者追悼式
- 4日(市内) 訪問市民相談
- 6日(市内) 町会レクリエーション大会
- 7日(市内) 訪問市民相談
- 9日(横浜市) 横浜医療福祉センター港南視察
- 10日(平塚市) 神奈川県動物愛護センター視察
- 11日(市内) 事務所用務
- 12日(市内) 中村隆俊氏名誉市民祝賀会
- 13日(市内) 消防団特別点検
- 14日(市内) 訪問市民相談
- 15日(市内) 事務所用務
- 17日(市内) 訪問市民相談
- 20日(市内) 戸田マラソン
- 22日(さいたま市) 県政報告会参加
- 23日(市内) PTA連合会ソフトバレー大会
- 24日(さいたま市) 学童保育連絡協議会
- 25日(県議会) 県ポート協会打ち合わせ
- 26日(市内) ソフトボール協会反省会
- 27日(市内) 戸田リトルシニア40周年式典
- 28日(市内) 事務所用務
- 29日(市内) 倫理法人会



編集後記

世間の注目を集めたオリンピック・パラリンピックのボート・カヌー競技会場については東京都、政府、組織委員会、IOCの4者協議により、元の案である「海の森競技場」となりました。

私も足かけ2年にわたり、上田知事への彩湖誘致の働きかけや小池知事特別秘書との連絡調整、県ボート協会への協力、署名活動の支援など様々な形で全力を尽くしましたが、競技会場としては断念せざるを得なくなりました。上田知事は、9月14日の「彩湖誘致」の知事コメント発表以降、県独自の試算や小池知事への直談判など地元の期待に最大限応える努力をしていただきました。

今後の彩湖についてはこのまま幕引きとせず、引き続き戸田市と国交省、そして埼玉県の連携をはかり、文字通り「埼玉のレガシー」として、戸田漕艇場も含め何らかの環境整備を模索してまいりたいと思います。これからも日本一のボートの聖地として、戸田市民の誇りや郷土愛に繋がる取組みを進めていきたいと思っています。

~最後までお読みいただきありがとうございました~